



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和5年7月20日 発行者 校長 柴山 敬

- 自らすすんで学ぶ子ども
- 互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- 健康や安全に気を付ける子ども

「北栄らしさ」が原動力 70周年記念式典に向けて

開校70周年を記念し、7月5日に全校児童がグラウンドに並んで校章を模った様子を上空約100メートルから写真撮影しました。少し前の時代であれば飛行機で撮影したところですが、今回は「ドローン」による撮影でした。

ドローンはテレビや動画サイトなどでも紹介されている無人航空機。グラウンドからドローンが飛び立つと子供たちは「おーっ！」と歓声を上げ、目視できなくなるまで興味深そうに眺めていました。15分ほどしてドローンが無事に着陸すると拍手が沸き起こり、どの児童も写真の出来栄に期待を寄せていました。

日 曜		8月の行事
18	金	2学期始業式 2学期の目標発表
21	月	給食費納入（低学年） Sアップ
22	火	給食費納入（高学年）
23	水	そらいろバス学習 プール（4,2,6年） Sアップ 給食費納入（予備日）
24	木	バス学習（5年）
25	金	作品見て歩き集会 クラブ③ 給食費自動振込日
26	土	北栄げんきクラブ
29	火	児童会⑤反省
30	水	バス学習（2年）
31	木	プール（3,1,5年）



昭和43年（1968年）の航空写真。今回の撮影ではどのような姿に写っているでしょう？

裏面へ続きます⇒



今から 60 年前に編集された開校 10 周年記念誌の中で初代 PTA 会長の栗林猛氏は、本校の校舎が建設される前のこの辺りの様子を「数件の住宅と漢々と表現したいような草原、そしてその中に深い水たまりのあるところに北栄小学校が新築されると聞き、川北の住民はどんなにか大きな驚きであっただろうか。」と記し、さらに「市当局の甚大なる努力もあってではありますが、大きなくぼ地は埋め立てられ、整地され、学校のまわりの植林と進み、どうにか学校らしい環境がつけられたのでした。」と述べられていることを踏まえると、現在、本校が恵まれた環境にあることに感謝せずにはられません。



9 月 24 日の記念式典に向けて協賛会会長の遠藤明德氏のリーダーシップのもと、寄付金や来賓の依頼、式次第などの検討が進められています。協賛会の活動を支えている方々の中には、本校の卒業生も多くいらっしゃり、学校の教育活動に役立つことは何か、子供たちに喜んでもらえること



は何かなど、熱心に協議してくださっています。

「大変な仕事だけど、どうせやるなら楽しんでやるのが私の主義。」と遠藤会長は語ってくれました。こうした前向きな考えや姿勢が「北栄らしさ」であり、伝統を築く原動力になっているのかもしれない。

コミュニティ・スクール始動！

今年度の活動方針・計画を協議

7月5日に「第1回コミュニティ・スクール協議会」を開催し、今年度の活動方針や活動計画などについて協議し、各委員が所属している団体の活動状況等についても交流しました。



学校と家庭・地域が共に「北栄小児童の『生きる力』の育成」を目指すことを確認しました。学校では「本校の教育課題の解決に向けた実践」を、家庭や地域では「家庭や地域の願い・想いを形にする取組」をそれぞれ進めながら、様々な教育課題の解決に向けて、相互に連携・協働して取り組みます。

特に、これから始まる夏休み中は、「ラジオたいそうのつどい」や「学習スタジアム」を次とおり開催します。詳しくはチラシや本校のホームページをご覧ください。

【ラジオたいそうのつどい】

日時：7月22日、23日、29日、30日、8月5日、6日 7:00~7:10

場所：グラウンド

【学習スタジアム】

日時：7月25日、26日 9:00~11:30

場所：図書室、体育館など

対象：3・4・5・6年生